

拜啓

多年ノ宿題トシテ内配慮ヒ下アル登
記所新築ノ件ニ付キ親シク商議
中上度矣条由多月中内足勞ナガラ
明九日正午時万障由繰合ノ上当役
場、内来食也中度以段奉得貴
意也

明治三十八年十二月八日

安樂川村長津田正朔

Handwritten text, mostly illegible due to fading and bleed-through from the reverse side of the page.

大字市役所

松島雅彦

津島博吉

橋本正彦

田中修三

田中修三

二十九日

孫本正彦

津島博吉

津島博吉

田村 一二

田中修三

田中修三

0002

安樂川村文書 II 文番号 162



安楽川本行跡
山名 恒
山名 恒
山名 恒

山名 恒
山名 恒
山名 恒

山名 恒
山名 恒
山名 恒

同

大字 恒

山名 恒
山名 恒
山名 恒

山名 恒
山名 恒
山名 恒

山名 恒
山名 恒
山名 恒



三十八年十一月九日
市谷出立所新築
議定見書

市谷出立所
新築
議定見書

0004

安楽川村文書Ⅱ

文書
番号

162



松口法吉
 杉山正房
 西村庄吉
 田中義典
 津田仁三
 田中雄二

安楽川村文書
 安楽川村文書
 安楽川村文書

一 安楽川村文書
 一 安楽川村文書
 一 安楽川村文書
 一 安楽川村文書

計長 津田正朝
 和歌山區人判所
 書 津田正朝印

三平の年十一月九日申内蓮見
 寺の龍子様を御覧之なり
 年可之由也 申内様
 去回書分 申内様 二 津田正朝
 津田正朝 申内様 津田正朝
 津田正朝 申内様 津田正朝
 津田正朝 申内様 津田正朝
 津田正朝 申内様 津田正朝

0007

安楽川村文書Ⅱ 162



子書

二地料ノ壹更セハ様契ホリ又ノ若シ期限内ニ其
 敷地ノ公租公課等増額十人中其額ノ額ヲ増セ
 差支十二且地上権ノ設定ハ其法令ニ依リ
 第三系和山道ノ判行市所出張所ニ以テ設置
 又且限ニシテ古者中ヨリ七名ノ妻更ヲ授定ス且又
 妻更ノ所置ハ大字市所生居者中ヨリ二名且他各大字ノ
 其居者中ヨリ一名ノ妻更ノ中ヨリ年更長ヲ授定ス且
 妻更ノ年更ハ四年又右を妻更ノ年更中ニ止ル目
 此ノ区賦ニカスハ満額ノ即ハ其居者ノ物居ノ用キ
 妻更ノ授定スル

~~妻更ノ授定スル
 妻更ノ授定スル
 妻更ノ授定スル~~

才四年資本金ニモ千圓トス

但建築成功ノ節ハ支拂高ニ基キ増減
 スル事ニモヤル

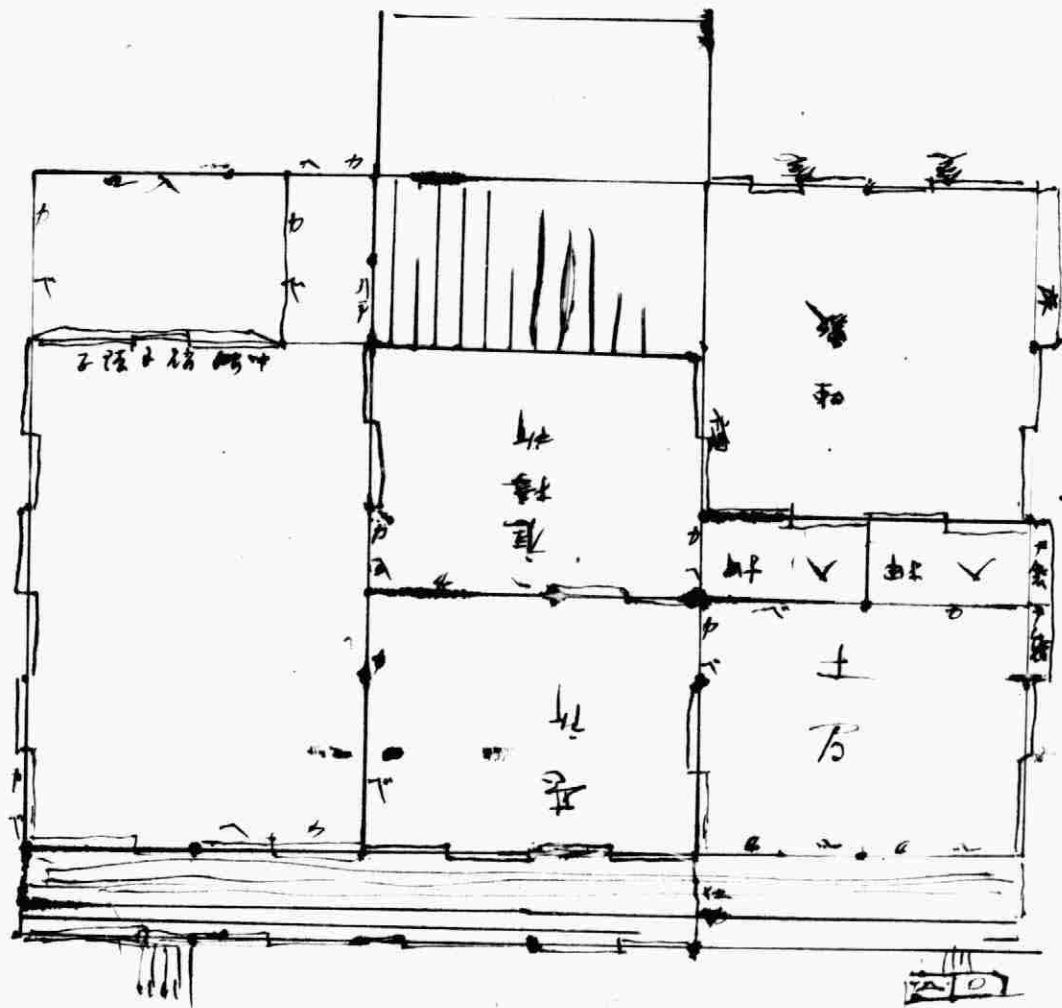
才六年共居権ノ利ヲ四拾分ノ定ムル事

但共居者中ニ都合ヨリ金分又ハモ分ノ買
 買讓子相續賢ハ此者権設定等ハ注意

云々ヤキ事

才六年以目本集金ニ才三圓ニ集金スル事
 但是公権利ニ才二圓金封付才二圓金権

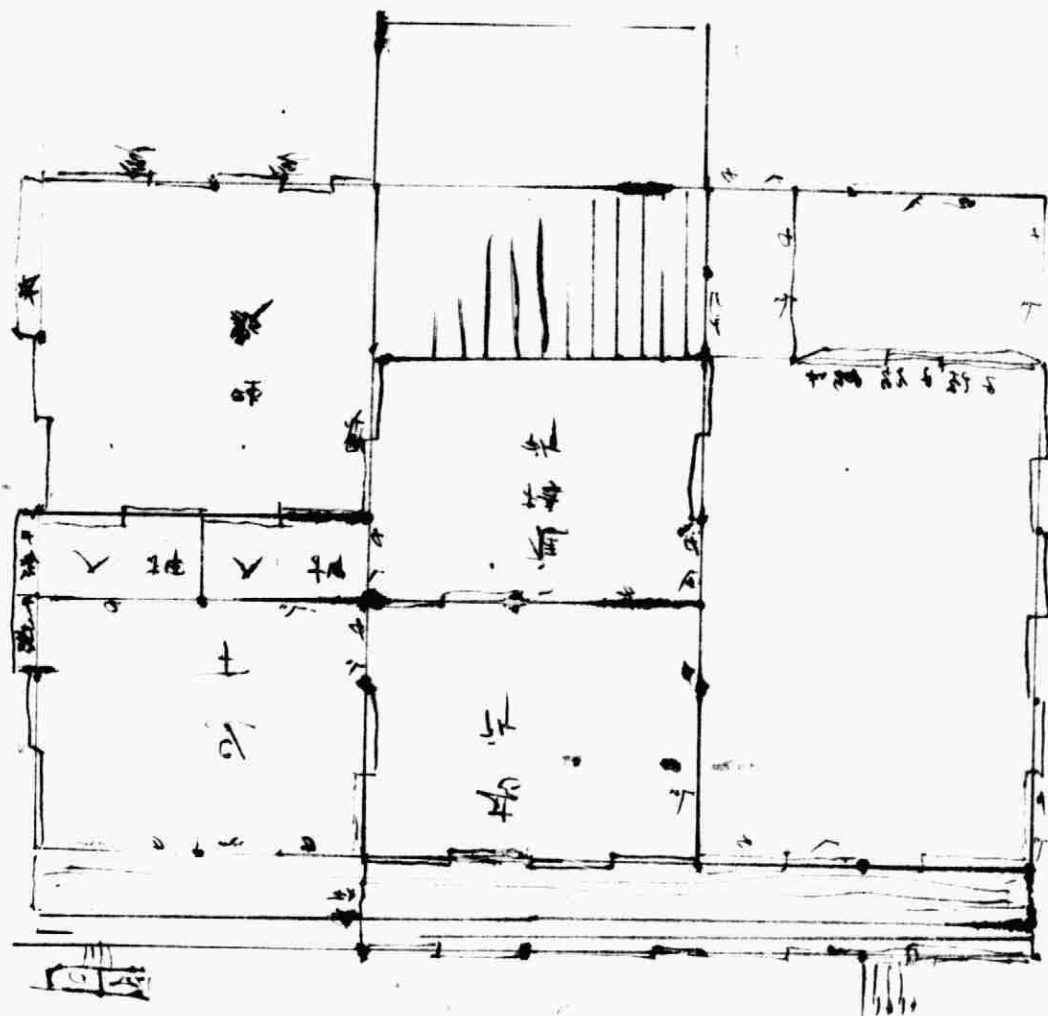




0011

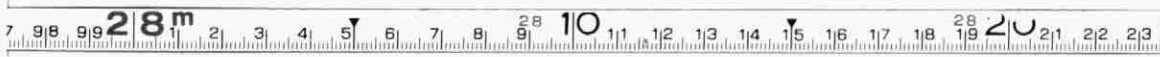
安楽川村文書Ⅱ 文書番号 163

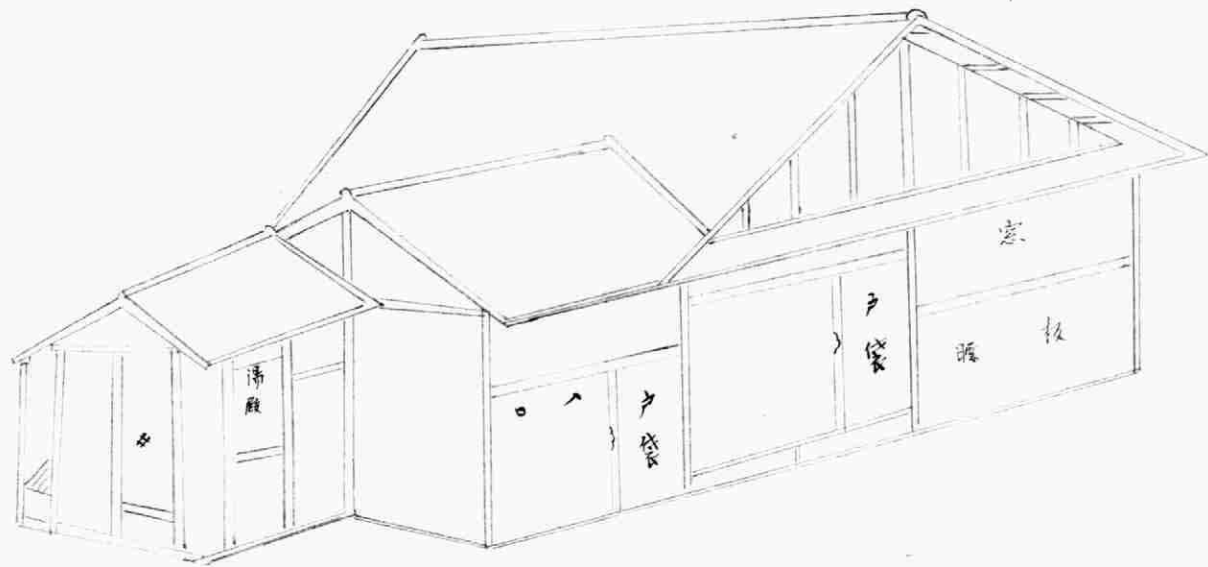




0012

安楽川村文書Ⅱ 文書番号 163





0013

安楽川村文書Ⅱ

文書号

164

7 9⁸ 9⁹ 2⁸ 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23

0014

安楽川村文書Ⅱ

文書
番号

164



才

2

外 劣 午

御期間、著平日より九日間トス

但建築成行、郎以收出勘定、計筆ヲ委

負長ヨリ報告セテ事

才九条北殿山匠ヤ判所市堀出張所建築成

行、郎以共足持、能石権保在、查定申注

之其查定記簿、百等々其地、吉類一切ヲ委

負長手元形ノ遺事

但該建物之宜元公証ヲ受テ石類陳々ノ外籍

ニ其石物ニ関スル石類之公正百等々作成シ

受テ事、且又該公証ヲ受テ先者類ノ腰寫シ



上巻者下巻部と相違せず

ト云之權利は是ノ部ノ利益其ノ者ノ各巻部ノ

利益ニ在リ

才十系建而任意貸料及其他代人又ハ

構内收入中紙上金租員飲食員下肥員

生員ハ其ノ者ノ利益トス

但本系ニ記載ス建而任意貸料外ハ他

投票員トシテ又負セシム事

才十系其ノ者知シ會々毎年一上毎月日

下口時ニ其ノ者ノ利益ノ取當ラハズ事

才十系其ノ者

何れ陸の物の事か

才十系和歌山迄才判所市橋土橋所ノ宗屋
敷ハ天災ニ依リ生ズン損害ハ繕ヒ其ノ
者損多トス事

但建物大破ノ即ハ陸の物ハ會々改修

管轄ハ了リ且スル破ノ即ハ委負會々

修繕ハ管轄中修繕ス事

才十系和歌山迄才判所市橋土橋所ノ建設

後大字市橋田ノ利ニ其ノ者ノ利益ニ對シ

害セントスル者アルハ具テ其ノ者中ヨリ法

テ以テ是ヲ防ハズ事



才十四条敷地籍 支松町、毎年土月
未日下三ヶ年事

才十五条建部二事 委負、其尾者
一物心會、旅上特、之石擇字本事

右条台積守、上、丸、調、下、ス、モ、セ

才十六条建部二事 委負、其尾者
一物心會、旅上特、之石擇字本事

申書

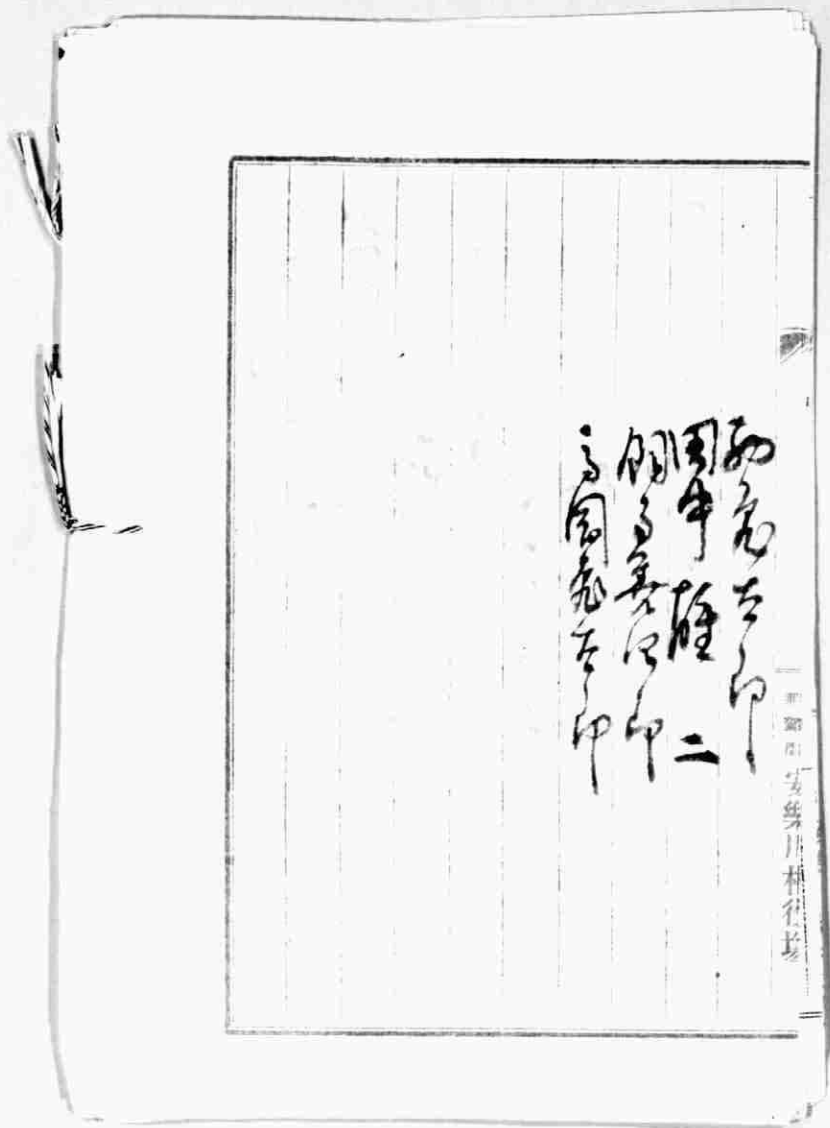
那、突、秋、あ、青、新、大、字、市、の、は、後、至
る、之、如、引、心、已、裁、由、所、能、生、出、紙
景、面、之、由、了、本、村、大、字、市、協、力、を、行
五、支、事、を、あ、り、ま、す、に、お、き、地、に、及、び、之、を
取、之、下、す、に、以、新、築、地、に、及、び、之、を
向、付、接、力、を、申、上、せ、ま、す、事、由、申
上、す、事、由、申、上、せ、ま、す、事、由、申
上、す、事、由、申、上、せ、ま、す、事、由、申

安楽川村文書



昭和二十一年十一月十日
 於安樂川村
 津田正邦
 和歌山地方裁量研究所
 到予承造所長殿

昭和二十一年十一月十日
 安樂川村
 西竹正印
 二子正
 高島正
 阿部正
 安樂川村
 文七



和名在印
同中除二
例之在印
之同在印

和名在印
同中除二
例之在印
之同在印

0019

安楽川村文書Ⅱ

文書
番号

162

